

(別紙4(2))

事業所名 グループホームチアフル 音明かり

目標達成計画

作成日: 平成30年12月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1, 18	全利用者高齢に伴う筋力低下により、前傾姿勢・ふらつき・すり足で不安定な歩行で転倒リスク高い。・事故防止優先になり過剰な声掛けも増えている。	・自由を奪わず安全に過ごす。	①スピーチロック掛けない。 ②リハビリ体操やラジオ体操継続する。 ③残存機能を見極め、基本理念に沿った 支援行う。	12ヶ月
2	13	職員一人一人の思いや考えがバラバラであり、効率よく業務が遂行できない環境がある。	・効率良く業務を行う。	①職員同士が些細なことでも相談し、共に計画を立てる。 ②申し送りを的確に伝える。 ③自分の行動に責任を持つ。	6ヶ月
3	33	重度化・終末期のケアに不安を持っている。・特に一人になる夜間帯。	・利用者・家族の要望に応える。	①専門職としての自覚と自信を持つ。 ②体験回数増やし不安克服する。 ③チームで取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(別紙4(2))

事業所名 グループホームチアフル 詩明かり

目標達成計画

作成日: 平成30年12月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	利用者様それぞれの認知症が進行し状態の違いなどで利用者様同士が悪口を言われたり・輪の中に入れて孤立になる姿が見られる。職員が仲介に入り輪の中に入れる状態を作る必要がある。	他の利用者様達との会話を広げながら自然と皆の輪の中に入りやすい状態を作り楽しい生活を送って頂く環境。	①職員が個々の性格・環境の再確認し把握する。②生活の中での個々の環境の状況の確認。③把握した中で職員が生活面での配慮する。④状態を見て声かけ、悪口などは注意。いつでも職員が仲介に入れる配置を作り輪の中に入れるようにする。	12ヶ月
2	38	職員の都合・行事・余裕がない時は利用者様を中心したケアが行われていない。	個々の要望・その方に合ったペースで生活をして頂く。	職員不足の中業務を行うのは限度があるが、その中でも出来る業務を行いながら、利用者様の要望があればすぐ対応し出来る限り要望に添えるように努める。その方の意思の尊重に努め、ペースを崩さないように心がける。	12ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。